

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/12	日本航空	ボーイング式737-800	JA302J	北九州空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	成田国際空港	バンクーバー	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	大阪国際空港	函館空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	松本空港	岡山空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	神戸空港	新千歳空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/15	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA05JC			社内調査の結果、無線電話機の取り直し期限を超過していたことが判明した。	
4/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	シンガポール	成田国際空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
4/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB			運航整備中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/16	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	成田国際空港	シアトル	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	東京国際空港	北九州空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/16	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC			社内調査の結果、無線電話機の取り直し期限を超過していたことが判明した。	
4/16	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC			社内調査の結果、無線電話機の取り直し期限を超過していたことが判明した。	
4/17	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	大阪国際空港	高知空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/17	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC			運航整備中、貨物室の換気弁に不具合が発見された。	
4/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	新千歳空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/18	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
4/19	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA814A	パリ	東京国際空港	飛行中、運航乗務員の1名が一時的に意識不明となったため、目的地を変更した。	重大インシデント
4/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	福岡空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
4/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	南紀白浜空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/19	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA213A	東京国際空港	庄内空港	進入中、擾乱の影響により対地接近警報が作動した。	
4/20	全日本空輸	エアバス式A380-841型	JA382A			定時整備中、非常灯のカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
4/20	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC	鹿児島空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/20	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	東京国際空港	八丈島空港	整備委託先において、座席のシートカバーに製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
4/20	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
4/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	神戸空港	下地島空港	上昇中、貨物室の消火器が作動したことを示す計器表示があった。	
4/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	大阪国際空港	青森空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	福岡空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	仙台空港	新千歳空港	飛行中、機内用照明灯のベースが外れて傾いた。	
4/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA814P	成田国際空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/23	スプリング・ジャパン					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに運航業務を行っていたことが判明した。	
4/23	スプリング・ジャパン					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに運航業務を行っていたことが判明した。	
4/23	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	名古屋飛行場	出雲空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA12VA	関西国際空港	新石垣空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA68AN	関西国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	新潟空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA12VA	新石垣空港	関西国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/25	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	福岡空港	名古屋飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ	中部国際空港	那覇空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	大阪国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA60AN	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	成田国際空港	メキシコ	進入中、擾乱の影響により対地接近警報が作動した。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	新石垣空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	仙台空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/27	日本貨物航空	ボーイング747-8F型	JA13KZ	シカゴ	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/27	全日本空輸	ボーイング767-300型	JA8664	成田国際空港	上海(浦東)	飛行中、作動油量が低下したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/27	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
4/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A			定時整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が見えられた。	
4/28	Peach Aviation	エアバスA320-251N型	JA201P	福岡空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/28	日本航空	エアバスA350-941型	JA06XJ	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
4/29	日本航空	エアバスA350-941型	JA05XJ	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/29	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	新石垣空港	与那国空港	確認不足により、運用許容基準適用のための運航制限を適用せずに運航した。	
4/29	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	与那国空港	新石垣空港	確認不足により、運用許容基準適用のための運航制限を適用せずに運航した。	
4/30	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA253J	長崎空港	大阪国際空港	上昇中、第2エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
4/30	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA73NE	神戸空港	鹿児島空港	乗客の思い込みにより、誤った座席に着席したことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	新千歳空港	成田国際空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A	大阪国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/1	ジェイエア	エアバス式ERJ170-100STD型	JA221J	奄美空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC			運航整備中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/1	日本航空	ボーイング767-300型	JA612J	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/2	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ	中部国際空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	大阪国際空港	福島空港	雷雨による一時的な気流の乱れにより、エンジンが一時的に停止した。	
5/2	ANAウイングス	ボーイング737-800型	JA54AN	大阪国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/2	ソラシドエア	ボーイング737-800型	JA809X	鹿児島空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/3	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA07JC	大阪国際空港	屋久島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/3	新中央航空	ルガドDornier228-2	JA37CA	新潟空港	調布飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/3	日本航空	ボーイング737-800型	JA318J	東京国際空港	長崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/4	日本航空	ボーイング737-800型	JA342J	大阪国際空港	奄美空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
5/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	東京国際空港	福岡空港	着陸後、操縦系統に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/7	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	成田国際空港	高松空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/8	日本航空	ボーイング787-8型	JA842J	シドニー	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
5/9	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	那覇空港	福岡空港	飛行中、確認不足により管制指示高度を逸脱した。	
5/9	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
5/9	ソラシドエア	ボーイング737-800型	JA808X	長崎空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/10	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	福岡空港	中部国際空港	進入復行の際、確認が不足したことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
5/11	スカイマーク	ボーイング737-800型	JA737N			社内調査の結果、貨物室の部品の取付け作業において不備があったことが判明した。	
5/11	ANAウイングス	ボーイング737-800型	JA78AN	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	福岡空港	大阪国際空港	社内調査の結果、機内携帯除菌剤のマスクが接続していないことが判明した。	
5/13	全日本空輸	ボーイング767-300型	JA603A	マニラ	成田国際空港	離陸時、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
5/13	朝日航洋	MDヘリコプターズ式MD900型	JA6909			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が見えられた。	
5/14	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	中部国際空港	大分空港	飛行中、簡易型飛行記録装置が不動作の状態であったことが判明した。	
5/15	日本航空	ボーイング767-300型	JA602J	福岡空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/15	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
5/16	日本航空	ボーイング787-9型	JA878J	台北(松山)	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	福岡空港	中部国際空港	社内調査の結果、ブレーキの配管の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
5/16	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
5/16	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	福岡空港	屋久島空港	上昇中、与任系統に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
5/17	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA249J	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA249J	長崎空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	成田国際空港	ダラス	悪天候による目的地変更により、必要な外部点検を行わずに運航した。	
5/18	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA933A	東京国際空港	フランクフルト	客室乗降扉の覗き窓の視界を確保しない状態で着陸した。	
5/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA83AN	中部国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/19	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	東京国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/21	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA339J	中部国際空港	新千歳空港	確認手順に不足があったことから、乗務員基準を超過したことが判明した。	
5/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA05JJ			鳥衝突後に適用となる特別点検に必要な器材を使用せずに点検を行っていたことが判明した。	
5/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	成田国際空港	台北(桃園)	飛行中、機内の気圧が通常よりも低下したことを示す計器表示があったため目的地を変更した。	イレギュラー運航
5/24	東邦航空	シコルスキーS-76C型	JA769B	八丈島空港	八丈島空港	社内調査の結果、テールローター関連部品の取り卸し期限を超過していたことが判明した。	
5/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	東京国際空港	ダラス	社内調査の結果、点検作業が不足していたことが判明した。	
5/26	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA27MC	北九州空港	東京国際空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA832J	ソウル(仁川)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
5/27	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/28	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA01JC	福岡空港	屋久島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/28	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA802X			社内調査の結果、タイヤの点検期限が超過していたことが判明した。	
5/28	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	福岡空港	那覇空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	宮古空港	那覇空港	上昇中、前縁フラップに不具合があったことを示す計器表示があった。	
5/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	帯広空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/30	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	大阪国際空港	秋田空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/31	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA64AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
5/31	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	東京国際空港	ロサンゼルス	運航整備中、エンジンのオイルタンクの蓋を閉め忘れたことから、エンジン始動時にオイルが漏れた。	
5/31	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
5/31	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA67AN	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/1	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA243J	長崎空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
6/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA52AN			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アンカレッジ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	アムステルダム	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ			整備委託先において、作業中、エンジン部品に損傷を与えたものの適切な処置が行われていなかったことが判明した。	
6/4	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	南大東空港	那覇空港	社内調査の結果、非常用照明灯に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
6/4	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/5	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA149A			社内調査の結果、前脚の片方に製造者が認めていないタイヤが取り付けられていることが判明した。	
6/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA14JJ			鳥衝突後に適用となる特別点検に必要な器材を使用せずに点検を行っていたことが判明した。	
6/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	熊本空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/6	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	降下中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
6/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	アンカレッジ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/7	ジェイエア					社内調査の結果、客室乗務員に必要な訓練の実施期限を超過していたことが判明した。	
6/7	朝日航洋	MDヘリコプターズ式MD900型	JA6911			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/8	全日本空輸	エアバスA321-272N	JA132A	熊本空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA715A			定時整備中、パイロンの構造部に亀裂が発見された。	
6/10	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN	神戸空港	新千歳空港	着陸後、機内の天井や非常灯のカバーが複数外れた。	
6/10	オールニッポンヘリコプター	エアバスヘリコプター式	JA66NH			定時整備中、胴体下部の構造部に亀裂が発見された。	
6/10	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	福岡空港	那覇空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/10	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
6/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	新石垣空港	関西国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/11	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	パリ	東京国際空港	到着後、前脚のタイヤが部分的に割れていることが発見された。	
6/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN			定時整備中、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/11	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	大阪国際空港	東京国際空港	飛行中、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
6/11	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/11	オリエンタルエアブリッジ	エアバスA320neo-600型	JA803B	香枝空港	長崎空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	アンカレッジ	離陸前、離陸の許可を得たと勘違いしたことから、離陸を開始しようとした。	
6/13	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA04GR	広島空港	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、搭載不可の搭載位置に危険物が搭載され運航したことが判明した。	
6/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA63AN	大阪国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	新千歳空港	離陸に向けた地上滑走中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	新千歳空港	東京国際空港	運航乗務員が乗務と乗務の間のアルコール検査を、定められた手順から逸脱して実施していたことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/15	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/15	朝日航空	セナセ680型	JA680C	ソウル(仁川)	中部国際空港	飛行中、エンジンデータやエアデータの信号処理装置に、不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	那覇空港	下地島空港	進入中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/15	オールニッポンヘリコプター	エアバスヘリコプター式	JA65NH			他機で不具合が発見されたため当該部位を点検したところ、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
6/16	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
6/16	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F			定時整備中、水平安定板の構造部に腐食が発見された。	
6/16	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
6/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	サンディエゴ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	四国航空	ユーロコプター式AS350B3	JA6511	高松空港	可部場外	荷下ろし場を確認中、監視が不足したことからテールローターを樹木に接触させた。	
6/18	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA06GR	成田国際空港	広島空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/18	全日本空輸					服用中の医薬品が増量になった報告を失念したことから、必要な確認および経過観察を行わずに乗務したことが判明した。	
6/19	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN			社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品を装着していたことが判明した。	
6/20	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
6/20	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232	JA20JJ			鳥衝突後に適用となる特別点検に必要な器材を使用せずに点検を行っていたことが判明した。	
6/21	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A			整備委託先において、国の承認が必要な構造修理の作業手順を、承認を受けずに作業を実施していたことが判明した。	
6/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	那覇空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/21	全日本空輸	エアバスA321-272N	JA135A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
6/22	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA803A	那覇空港	大阪国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
6/23	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
6/24	フジドリームエアラインズ	エアバスA320neo-600型	JA14FJ	新千歳空港	松本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	那覇空港	東京国際空港	進入中、確認が不足したことから脚上げ時の運用限界速度を超過した。	
6/25	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA795A	成田国際空港	シカゴ	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
6/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	新千歳空港	神戸空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/25	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した	
6/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA78AN	東京国際空港	八丈島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
6/27	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	ロンドン	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	新潟空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
6/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	シカゴ	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
6/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	新千歳空港	中部国際空港	離陸滑走中、左右の速度計に差が生じたことを示す計器表示があった。	
6/28	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F			定時整備中、胴体前方の構造部に亀裂が発見された。	
6/28	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/28	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/28	日本航空	ボーイング式767-300	JA601J	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/29	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
6/29	日本航空	ボーイング式737-800	JA326J	東京国際空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/1	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	花巻空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/1	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	鹿児島空港	屋久島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	東京国際空港	岡山空港	運航整備中、作業漏れがあったため、出発後、駐機場に引き返した。	
7/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/2	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA05AN	ロサンゼルス	サザンカリフォル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA703J	東京国際空港	岡山空港	運航整備中、作業漏れがあったため、出発後、エンジンが始動出来ず駐機場に引き返した。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			定時整備中、胴体前方の構造部に亀裂が発見された。	
7/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/3	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	那覇空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式767-8型	JA829A	東京国際空港	大阪国際空港	飛行中、第2エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があった。	
7/3	日本航空	ボーイング式777-200	JA703J	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/5	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC			定時整備中、油圧系統の遮断弁が作動しないことを発見した。	
7/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA11RK			定時整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	大阪国際空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	上海(浦東)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	松山空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があったため駐機場に引き返した。	
7/5	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA604F	成田国際空港	上海(浦東)	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	宮古空港	那覇空港	運航整備中、非常用照明灯のスイッチの不具合を発見した。	
7/6	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA248J	宮崎空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/6	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	鹿児島空港	鹿児島空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/7	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	中部国際空港	函館空港	降下中、経路上の予想通過高度の確認が不足し、最低経路高度未満に降下した。	
7/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	バンクーバー	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物を機内持込手荷物として輸送された。	
7/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、実施した整備作業と異なる部位を航空日誌に記載していたことが判明した。	
7/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC			定時整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/7	日本航空	ボーイング式767-300	JA656J	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	東京国際空港	北九州空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
7/10	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、ラダートリムが不動作となった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA820A			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
7/10	日本航空	ボーイング式737-800	JA322J	東京国際空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/11	日本航空	ボーイング式787-300	JA801J	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
7/13	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	下地島空港	成田国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/13	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA211A	東京国際空港	美保飛行場	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/13	全日本空輸	エアバス式A320-214型	JA01VA			特別整備中、左主翼下面の外皮に腐食が発見された。	
7/14	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA05FJ	名古屋飛行場	山形空港	乗客からの申告がなかったため、危険物を機内持込手荷物として輸送された。	
7/14	日本航空	ボーイング式777-200型	JA702J	東京国際空港	福岡空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/14	日本航空	ボーイング式787-9型	JA874J	台北(松山)	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
7/15	全日本空輸	エアバス式A320-214型	JA01VA			特別整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
7/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	大阪国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	中部国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	日本航空	ボーイング式777-200	JA709J	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/17	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	新千歳空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/19	学校法人ヒラタ学園	セキセイ172S型	JA107H	神戸空港	神戸空港	飛行中、発電機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/19	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA13FJ	名古屋飛行場	熊本空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	那覇空港	下地島空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/20	オリエンタルエブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	宮崎空港	福岡空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	
7/20	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	中部国際空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	大阪国際空港	長崎空港	運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
7/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	新千歳空港	中部国際空港	運航整備中、客室座席のクッションのカバーの一部に製造者が認めていない部品を装着していたことが判明した。	
7/21	全日本空輸	ボーイング式767-300F	JA602F	成田国際空港	上海(浦東)	社内調査の結果、貨物室の照明の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
7/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	福岡空港	新潟空港	着陸後、貨物室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、燃料タンクの表示に不具合が発生した。	
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	東京国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	ソウル(仁川)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/23	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	鹿児島空港	屋久島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	東京国際空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	那覇空港	福岡空港	客室乗務員が便用のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
7/23	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN			社内調査の結果、客室座席のクッションカバーの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
7/23	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA212A	広島空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/24	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/24	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	パリ	東京国際空港	上昇中、機内で異臭がしたことから引き返し、着陸の際に最大着陸重量を超過した。	イレギュラー運航
7/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	シカゴ	アムステルダム	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/24	全日本空輸	エアバス式A321-272N	JA150A	東京国際空港	熊本空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ	那覇空港	中部国際空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、駐機場に引き返した。	
7/25	全日本空輸	エアバス式A321-272N	JA140A	高知空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA246J	大阪国際空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/25	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA248J	青森空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
7/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA07RJ	仙台空港	松山空港	着陸後、貨物室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
7/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	福江空港	福岡空港	運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食と亀裂が発見された。	
7/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA10RJ	広島空港	仙台空港	降下中、通常の脚下げ操作を行ったところ、一時的に脚が展開しなかった。	
7/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ	中部国際空港	那覇空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/26	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA824A	那覇空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	北九州空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
7/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J	東京国際空港	松山空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
7/27	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA817A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA14RJ	仙台空港	松山空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	那覇空港	新石垣空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	東京国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA806A	成田国際空港	広島	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA07RJ	大分空港	大阪国際空港	進入中、貨物室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	鹿児島空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	福岡空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA07RJ	仙台空港	福岡空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/29	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA825A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/29	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA876A	フシントン	成田国際空港	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
7/29	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	成田国際空港	ホーチミン	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	釧路空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA09RJ	仙台空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物を機内持込手荷物として輸送された。	
7/31	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/31	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	中部国際空港	那覇空港	社内調査の結果、フラップ機構の部品を取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
7/31	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	東京国際空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
7/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	東京国際空港	福岡空港	社内調査の結果、油圧系統のフィルターの取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
8/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	鹿児島空港	神戸空港	上昇中、確認が不足したことから、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
8/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	東京国際空港	新石垣空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/2	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	ダラス	成田国際空港	社内調査の結果、実施した整備作業が航空日誌で法確認されていないことが判明した。	
8/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA840A	東京国際空港	那覇空港	離陸前の確認が不足していたことから非常脱出扉が不動作の状態で行進を開始した。	
8/3	ZIPAIR Tokyo					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに教官業務を行っていたことが判明した。	
8/3	ZIPAIR Tokyo					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに教官業務を行っていたことが判明した。	
8/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ	成田国際空港	鹿児島空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/4	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA82AN	大阪国際空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/4	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	福岡空港	中部国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA882A	マニラ	東京国際空港	社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
8/5	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/5	日本航空	ボーイング式767-300	JA602J	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/6	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA07FJ	神戸空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/6	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	成田国際空港	広島	客室乗務員が折り返し便でのアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA809A	東京国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/7	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	バンコク	社内調査の結果、作業指示と異なる部位の部品を交換していたことが判明した。	
8/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	長崎空港	東京国際空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
8/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	関西国際空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	仙台空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	ダラス	シカゴ	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA89AN	東京国際空港	広島空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
8/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/9	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	福岡空港	成田国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、高度計の設定を失念したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/10	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	東京国際空港	宮崎空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/10	セントラルヘリコプターサービス					社内調査の結果、航空身体検査証明の有効期限が失効した状態で運航していたことが判明した。	
8/11	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	福岡空港	成田国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/11	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA813P	福岡空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/11	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/11	中日本航空	セクス式560型	JA118N	高松空港	札幌飛行場	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	新千歳空港	東京国際空港	到着後、第1エンジンの逆推力装置に取り付けられた集音用の内張が部分的に割れていることが発見された。	
8/12	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA803A	東京国際空港	大阪国際空港	社内調査の結果、実施した作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
8/12	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA248J	福岡空港	仙台空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA617A			定時整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	宮古空港	東京国際空港	進入中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	関西国際空港	新千歳空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/14	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA08JC	種子島空港	鹿児島空港	着陸復行したところ、エンジンのトルク値が運用限界を超過した。	
8/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	高松空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	東京国際空港	女満別空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA816A	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA326J	徳島飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA113A	秋田空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	日本航空	ボーイング式787-9型	JA868J	東京国際空港	バンコク	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	那覇空港	関西国際空港	離陸に向けた地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	成田国際空港	福岡空港	離陸に向けた地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/16	ジェイエア	エアバス式ERJ190-100STD型	JA242J	三沢飛行場	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	神戸空港	百里飛行場	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA652J	東京国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/17	エアージャパン	ボーイング式787-9型	JA894A	シンガポール	成田国際空港	到着後、作業者の無縁機が貨物室で発見された。	
8/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA617A			定時整備中、右主翼の構造部に亀裂が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	関西国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	関西国際空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	香港	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/18	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA142A	関西国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/18	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/19	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA52AN	岡山空港	東京国際空港	降下中、回復操作を失念したことから、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
8/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA10VA	関西国際空港	那覇空港	飛行中、擾乱により指示高度を逸脱した。	
8/19	朝日航空	MDヘリコプター式MD900型	JA6914			定時整備中、胴体上部の構造部に亀裂が発見された。	
8/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A			運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
8/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	百里飛行場	神戸空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	神戸空港	下地島空港	社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/20	ジェイエア	エアバス式ERJ170-100STD型	JA223J	大阪国際空港	松本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/21	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	宮崎空港	那覇空港	飛行中、客室内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
8/21	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	シアトル	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	ダラス	運航整備中、機内の携帯用消火器に不具合が発見された。	
8/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	福岡空港	仙台空港	進入中、前縁フラップに不具合があったことを示す計器表示があった。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA933A	ブリュッセル	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
8/23	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA795A			整備品整備中、航空機用救命無線機の電波の一部が発出されない不具合が発見された。	
8/23	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	大分空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/23	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA04VA	関西国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/23	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA149A	東京国際空港	高松空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/23	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA201P	関西国際空港	福岡空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA71AN	東京国際空港	八丈島空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
8/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ			鳥衝突後に適用となる特別点検に必要な器材を使用せずに点検を行っていたことが判明した。	
8/24	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA14FJ	名古屋飛行場	花巻空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA08VA	那覇空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A			定時整備中、垂直安定板の構造部に亀裂が発見された。	
8/24	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	小松飛行場	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/25	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA216A	東京国際空港	佐賀空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/25	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA16FJ	名古屋飛行場	熊本空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	香港	社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
8/25	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/25	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	東京国際空港	大連	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/26	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-100STD型	JA02FJ	静岡空港	福岡空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA812A	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/27	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式ERJ170-201型	JA803B			社内調査の結果、扉の部品の一部に製造者の認めていない部品を装着していたことが判明した。	
8/27	日本航空	エアバス式A350-941型	JA09XJ			整備委託先において、タイヤの構成部品に製造者が認めていない部品が取付けられていたことが判明した。	
8/28	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	成田国際空港	関西国際空港	整備委託先において、機内非常用照明灯のコネクターが取り付けられていなかったことが判明した。	
8/28	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	ホーチミン	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J	那覇空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/29	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA785A	ロサンゼルス	成田国際空港	社内調査の結果、燃料系統の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
8/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ			社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
8/29	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
8/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK			運航整備中、機外の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	関西国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	関西国際空港	新千歳空港	離陸に向けた地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA873J	ハノイ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/30	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA213A	東京国際空港	函館空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/31	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ	成田国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/31	日本航空	ボーイング式777-300型	JA737J	東京国際空港	シカゴ	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
8/31	日本航空	ボーイング式787-8型	JA848J	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/1	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/2	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	与那国空港	新石垣空港	離陸に向けた地上走行中、機内通話装置に不具合が発生したため駐機場に引き返した。	
9/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA350J			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	仙台空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN	熊本空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J	岡山空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	福岡空港	東京国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
9/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	東京国際空港	北九州空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/5	朝日航洋	MD-80シリーズ式MD800型	JA6908	千葉県印西市内	千葉県印西市内	飛行中の確認が不足したことから、飛行制限区域に無許可侵入した。	
9/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	福岡空港	東京国際空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
9/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	東京国際空港	那覇空港	飛行中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯したままとなった。	
9/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA798A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
9/6	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/6	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	シンガポール	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/6	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	福岡空港	成田国際空港	離陸に向けた地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/7	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA05FJ	福岡空港	新潟空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/7	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA15FJ	神戸空港	高知空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/7	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA601F	成田国際空港	上海(浦東)	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/9	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-9型	JA825J	ソウル(仁川)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心データで出発し、離陸前に正確なデータへの修正を行った。	
9/9	日本航空	ボーイング式787-9型	JA867J	ボストン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	東京国際空港	福岡空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
9/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA801A	東京国際空港	大阪国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/11	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/11	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA604F	成田国際空港	香港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/12	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	成田国際空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA90AN	中部国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			社内調査の結果、貨物室内の部品の一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA824P	仙台空港	関西国際空港	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
9/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA821P	成田国際空港	関西国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	小松飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、抽気系統の漏れの検知検知系統に不具合が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J	成田国際空港	サンディエゴ	飛行中、機内通話装置に不具合が発生した。	
9/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA55AN	福岡空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/15	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA802A	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、スタビライザートリムの作動に不具合が発生した。	
9/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型		福岡空港	対馬空港	着陸時、ロックを失念したことからギャレーからコンテナが飛び出した。	
9/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	大阪国際空港	高知空港	データ記録装置の不具合に対して、必要な運用許容基準を適用せずに運航した。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A			定時整備中、水平安定板の上面に腐食が発見された。	
9/17	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	鹿児島空港	上昇中、確認が不足したことから脚下げ時における運用限界速度を超過した。	
9/17	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA217A			特別整備中、化粧室の酸素供給装置の一部に製造者が認めていない部品が取り付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/17	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA15FJ	名古屋飛行場	青森空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA832J	メルボルン	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/18	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/18	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/19	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JL	新千歳空港	成田国際空港	到着後、作業者の無検視が貨物室で見えられた。	
9/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J			社内調査の結果、構造修理の持ち越し処理が適切に行われていたことが判明した。	
9/19	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
9/19	フジビジネスジェット	セサ525	JA391C	静岡空港	静岡空港	飛行中、第2エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
9/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA837A	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	新千歳空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/21	ジェイエア	エアバス式ERJ170-100STD型	JA218J	大阪国際空港	山形空港	地上担当者の確認不足により、必要な医薬品が未搭載のまま運航したことが判明した。	
9/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
9/22	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	東京国際空港	福岡空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	大阪国際空港	鹿児島空港	運航整備中、作業漏れがあったため、離陸後、脚が格納出来なかったため引き返した。	イレギュラー運航
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A			社内調査の結果、構造点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843A			社内調査の結果、構造点検の実施期限を超過していたことが判明した。	
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	中部国際空港	新千歳空港	着陸時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
9/24	日本航空	エアバス式A350-941型	JA10XJ	福岡空港	東京国際空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
9/25	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	東京国際空港	宮崎空港	到着後の点検で、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードの損傷を発見した。	イレギュラー運航
9/26	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA112A			運航整備中、航空機救命無線機に不具合が発見された。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	那覇空港	神戸空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	宮古空港	那覇空港	運航整備中、前縁フラップに不具合があったことを示すライトが点灯した。	
9/27	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	朝日航洋	ユーロコプター式AS350B3型	JA6502	東京ヘリポート	東京ヘリポート	進入中、気流に対する修正操作を行ったところ、メインローターの回転数が運用限界を超過した。	
9/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2G10型	JA07RJ	大阪国際空港	仙台空港	離陸時、第1エンジンの回転数が低下したため、離陸を中止し、駐機場に引き返した。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA932A			社内調査の結果、エアコンの関連部品に関する点検期限を超過していたことが判明した。	
9/28	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01JC	天草飛行場	熊本空港	社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
9/28	ジェイエア	エアバス式ERJ170-100STD型	JA218J	新千歳空港	女満別空港	到着後、主脚のタイヤが1つ欠損していることが発見された。	
9/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	新石垣空港	那覇空港	運航整備中、前縁フラップに不具合があったことを示すライトが点灯した。	
9/29	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC			社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
9/29	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC			社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
9/29	日本エアコミューター	ATR式72-212A型	JA06JC			社内調査の結果、発生した不具合に対する整備措置を行わずに運航したことが判明した。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	パリ	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/30	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
9/30	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	香森空港	到着後、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
10/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA01JJ	成田国際空港	関西国際空港	地上走行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA20MC	東京国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA20MC	福岡空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/1	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA737Y	神戸空港	那覇空港	離陸滑走中、機内で異音を感じたことから離陸を中止した。	
10/1	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA06VA	那覇空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/1	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA824P	那覇空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/2	日本航空	ボーイング式777-200	JA710J	中部国際空港	東京国際空港	降下中、確認が不足したことから運用限界速度を超過した。	
10/2	全日本空輸	ボーイング式737-800	JA71AN	大阪国際空港	東京国際空港	復行中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
10/3	ソラシディア	ボーイング式737-800	JA805X	東京国際空港	大分空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/4	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA737Q	那覇空港	福岡空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
10/4	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA817P			到着後の点検において、機体外部の隙間を埋めるシールの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていることが判明した。	
10/5	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA85RC	那覇空港	宮古空港	運航整備中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA843A			運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
10/5	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
10/5	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
10/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA837J	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA12KZ	香港	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
10/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA921A	成田国際空港	広州(中国)	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/6	全日本空輸					運航管理者が勤務前のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	
10/6	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	シャルルドゴール	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
10/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型				地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
10/7	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA81RC			社内調査の結果、主脚の関連部品に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
10/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ19	JA249J	青森空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/9	日本航空	ボーイング式737-800	JA349J	東京国際空港	秋田空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンの損傷を発見した。	イレギュラー運航
10/9	日本航空	ボーイング式737-800	JA322J	東京国際空港	奄美空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
10/9	ソラシディア	ボーイング式737-800	JA807X	東京国際空港	長崎空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/9	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA82AN	能登空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/10	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA11RK	那覇空港	新石垣空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
10/10	日本航空	ボーイング式737-800	JA339J	福岡空港	東京国際空港	着陸後、管制の許可を得ずに滑走路を横断した。	
10/10	全日本空輸	ボーイング式787-10型	JA901A	成田国際空港	上海(浦東)	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA03RK	那覇空港	宮古空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/11	エケル航空	ユーロコプター式AS3	JA918D			社内調査の結果、非常用フロートの取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
10/11	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA01JJ			社内調査の結果、特別点検に必要な器材を使用せずに点検を行っていたことが判明した。	
10/12	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型				社内調査の結果、尾翼の関連部品に関する耐空性改善通報による点検期限が超過していたことが判明した。	
10/12	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA837A	成田国際空港	ヒューストン	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA21MC	東京国際空港	北九州空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/13	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA21MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA05RK			社内調査の結果、ステアリングに関する部品の取付け手順に誤りがあったことが判明した。	
10/13	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA14JJ	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/14	静岡エアコミューター	アグスタ式AW109SP	JA10YM	静岡空港	名古屋飛行場	社内調査の結果、部品の流用に関する手順が不適切であったことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
10/14	新日本航空	ブリティッシュ・ノーマン式B	JA80CT			社内調査の結果、エンジンの関連部品に関する耐空性改善通報による点検を実施していないことが判明した。	
10/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	岡山空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA831J			社内調査の結果、構造修理の処置並びに持ち越し処理に不備があったことが判明した。	
10/15	日本航空	ボーイング式787-9型	JA888J			社内調査の結果、構造修理の処置並びに持ち越し処理に不備があったことが判明した。	
10/16	日本航空	ボーイング式777-300	JA740J	ロサンゼルス	東京国際空港	上昇中、第2エンジンに不具合が発生したから、当該エンジンを停止し、緊急事態を宣言の上、引き返した。	イレギュラー運航
10/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA78AN	中部国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/16	日本航空	ボーイング式737-800	JA327J	高松空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/17	全日本空輸	エアバス式A320-271	JA212A	東京国際空港	庄内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ17	JA222J	鹿児島空港	奄美空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
10/18	日本航空	ボーイング式737-800	JA329J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/18	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA04FJ	名古屋飛行場	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
10/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA19JJ			社内調査の結果、特別点検に必要な器材を使用せずに点検を行っていたことが判明した。	
10/19	日本航空	ボーイング式767-300	JA601J	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ19	JA250J	大阪国際空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA309J	新千歳空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/21	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA05JJ	福岡空港	成田国際空港	エンジン始動中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/21	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	東京国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/21	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-	JA06RJ	新千歳空港	福島空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA850A			運航整備中、右エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
10/23	日本航空	ボーイング式767-300	JA622J	鹿児島空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
10/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA824P	成田国際空港	福岡空港	進入中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/25	日本航空	ボーイング式787-9型	JA882J	バリ	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/25	日本航空	ボーイング式737-800	JA319J	関西国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA819P	成田国際空港	那覇空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
10/26	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA866A	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
10/26	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA850A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
10/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA62AN	新千歳空港	中部国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
10/26	日本航空	ボーイング式767-300	JA622J	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA07JJ	成田国際空港	成田国際空港	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
10/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA08FJ	静岡空港	熊本空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA16KZ	香港	成田国際空港	巡行中、航空機内の客室高度が上昇したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
10/28	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA811X	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
10/28	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA828P	釧路空港	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA16KZ	香港	成田国際空港	降下中、運用限界速度を超過した。	イレギュラー運航
10/28	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	バンクーバー	成田国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
10/28	日本航空	ボーイング式767-300	JA657J	東京国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
10/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA464A	新千歳空港	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA03RK			降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F		ニューヨーク	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
10/31	フジドリームエアラインズ					勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、運航管理者からアルコールが検知された。	
11/2	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA609A	大阪国際空港	新千歳空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/2	日本航空	ボーイング式737-800	JA302J	東京国際空港	高知空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/3	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA804X	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-	JA05RJ	福岡空港	新潟空港	上昇中、運用限界を超える速度で誤ってワイバーを操作した。	
11/4	日本航空	ボーイング式737-800	JA322J	新千歳空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
11/4	日本航空	ボーイング式737-800	JA330J	東京国際空港	長崎空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/5	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA82RC	那覇空港	久米島空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
11/5	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA82RC	那覇空港	久米島空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
11/6	日本航空	ボーイング式787-9型	JA882J	ヘルシンキ	東京国際空港	到着後、作業用の電子機器が貨物室で発見された。	
11/8	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8970			定時整備中、左主翼の構造部に腐食が発見された。	
11/8	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8970			定時整備中、左主翼の構造部に腐食が発見された。	
11/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA79AN	新千歳空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA827P	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/8	日本航空	ボーイング式767-300	JA606J	東京国際空港	旭川空港	進入中、操作を誤ったことから、対地接近警報が作動した。	
11/8	AIRDO	ボーイング式767-300	JA605A			整備委託先において、舵面に取り付けアース線の一部が未装着であったことが判明した。	
11/9	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA807X	東京国際空港	宮崎空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/9	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA66AN	関西国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/10	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA807X	東京国際空港	熊本空港	上昇中、第2エンジンが停止したため引き返した。	イレギュラー運航
11/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA853A	大阪国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA27MC	山口宇部空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/12	全日本空輸	エアバス式A320-271	JA214A	高松空港	東京国際空港	復行時、管制指示経路の確認が不足したことから、管制指示経路を逸脱した。	
11/12	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA886A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA465A	福岡空港	大阪国際空港	巡航中、航空機内の客室高度が上昇したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
11/14	日本航空	ボーイング式737-800	JA334J	新千歳空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/15	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA10FJ	新千歳空港	静岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/15	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC			地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
11/15	日本航空	ボーイング式767-300	JA606J	東京国際空港	新千歳空港	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
11/15	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8323	成田国際空港	上海(浦東)	荷主が適切な申告を行わなかったことから、危険物の数量を誤って輸送したことが判明した。	
11/16	AIRDO	ボーイング式767-300	JA601A			社内調査の結果、機外排水口の部品の一部に製造者が認めていない部品が取り付けられていることが判明した。	
11/16	日本航空	ボーイング式787-8型	JA821J	シンガポール	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/17	全日本空輸	エアバス式A320-214	JA03VA			定時整備中、左主翼の構造部に腐食が発見された。	
11/17	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA737Q	奄美空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物表示を誤って輸送したことが判明した。	
11/17	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8664			社内調査の結果、部品取り付け後の付随作業が実施されていないことが判明した。	
11/18	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA832A	ヒューストン	成田国際空港	飛行中、気流の擾乱により運用限界速度を超過した事象	
11/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ19	JA241J	福岡空港	大阪国際空港	対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
11/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA842A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
11/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA852A	大阪国際空港	宮崎空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
11/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA05MC			運航整備中、客室座席の部品の一部が取り付けられていないことが判明した。	
11/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA11RK	那覇空港	福岡空港	降下中、脚下げ時における運用限界速度を超過した。	
11/19	日本航空	ボーイング式787-9型	JA873J	成田国際空港	シアトル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/20	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8323	アモイ(中国)	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
11/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA12KZ	香港	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
11/22	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA138A	東京国際空港	高松空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/22	日本航空					勤務時間管理システムの不備により、乗務時間が規定で定める上限を超過したことが判明した。	
11/22	オリエントエアーリッジ	デハビランド・エアクラ	JA803B			社内調査の結果、化粧室内の煙探知機の点検間隔が期限を超過していたことが判明した。	
11/22	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA132A	東京国際空港	函館空港	上昇中、管制指示経路の確認が不足したことから、管制指示経路を逸脱した。	
11/23	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA06FJ	静岡空港	福岡空港	スラストレバーが離陸位置でないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した事象	
11/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA842A			運航整備中、左エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
11/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型		福岡空港	関西国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
11/24	日本航空	ボーイング式777-200	JA703J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
11/25	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73AB	新千歳空港	百里飛行場	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
11/25	日本航空	ボーイング式737-800	JA337J	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、危険物に該当する空間除菌剤が機内持込手荷物として輸送された。	
11/26	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA822P	那覇空港	中部国際空港	離陸滑走中、飛行管理装置に不具合が発生したため、離陸を中止した。	
11/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA13FJ	新潟空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/27	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA85RC	宮古空港	新石垣空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
11/27	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA882A	デリー(インド)	東京国際空港	到着後、作業用の電子機器が貨物室で発見された。	
11/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA09FJ	名古屋飛行場	熊本空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
11/29	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA786A	サンフランシスコ	成田国際空港	整備委託先において、資格を有していない型式の確認が行われていたことが判明した。	
11/29	AIRDO	ボーイング式737-700	JA14AN	下地島空港	下地島空港	離陸滑走中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
11/29	日本航空					社内調査の結果、航空身体検査基準を満足しない状態で運航していたことが判明した。	
11/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA05RK	那覇空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/30	日本航空	ボーイング式777-300	JA731J	上海(浦東)	東京国際空港	上昇中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
12/1	日本航空	ボーイング式787-9型	JA873J	成田国際空港	大連	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/2	日本航空	ボーイング式787-8型	JA821J	シンガポール	成田国際空港	降下中、機内放送装置に不具合が発生した。	
12/2	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA899A	東京国際空港	マニラ	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ17	JA212J	福岡空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA09RK			定時整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
12/3	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA752A			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA01FJ	新千歳空港	松本空港	地上担当者の確認不足により、誤った飛行計画を作成し、運航した。	
12/7	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA885A	台北(桃園)	成田国際空港	降下中、操縦系統(スポイラー)に不具合が発生した。	
12/7	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA802X			運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA846J	福岡空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
12/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA846A	福岡空港	大阪国際空港	飛行中、与任系統に不具合が発生した。	
12/9	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL	JA11RJ	福岡空港	仙台空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/9	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA02FJ	山形空港	名古屋飛行場	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/9	日本航空	ボーイング式767-300	JA612J	出雲空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/9	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA139A	東京国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/9	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NP	神戸空港	仙台空港	航空交通管制用自動応答装置の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
12/9	日本航空	ボーイング式787-9型		サンフランシスコ	東京国際空港	確認が不足したことから客室扉の窓を着陸用に切り替えずに着陸した。	
12/10	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NE	那覇空港	百里飛行場	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
12/10	全日本空輸					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに客室乗務を行っていたことが判明した。	
12/10	全日本空輸					社内調査の結果、必要な要件を満足せずに客室乗務を行っていたことが判明した。	
12/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA25MC	山口宇部空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/11	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA83RC	久米島空港	那覇空港	運航整備中、左エンジンの空気取り入れ口の構造部に損傷が発見された。	
12/11	日本航空	ボーイング式777-300	JA735J	東京国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/11	エアージャパン	ボーイング式787-9型	JA922A	シンガポール	成田国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
12/12	Peach Aviation	エアバス式A320-251	JA204P	関西国際空港	鹿児島空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/12	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA133A	東京国際空港	庄内空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/12	日本航空	ボーイング式737-800	JA322J	長崎空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/13	AIRDO	ボーイング式767-300	JA612A	東京国際空港	旭川空港	着陸時、第1及び第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA12KZ	成田国際空港	アムステルダム	着陸直前、風の衰えを受けて対地接近警報装置が作動した。	
12/14	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NC	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/14	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA01JC			乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/14	日本航空	ボーイング式737-800	JA322J	新千歳空港	関西国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第1エンジンの圧縮機ブレードの損傷を発見した。	
12/15	フジドリームエアラインズ		JA08FJ	福岡空港	静岡空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切に実施していないことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA840A	大阪国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA80AN	東京国際空港	富山空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンの空気取り入れ口の損傷を発見した。	イレギュラー運航
12/15	日本航空					運航管理補助者が勤務開始時のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
12/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA21MC			整備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
12/16	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA05FJ	仙台空港	出雲空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/17	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA789A	東京国際空港	シカゴ	飛行中、燃料放出系統に不具合が発生した。	イレギュラー運航
12/17	AIRDO	ボーイング式737-700	JA15AN			社内調査の結果、構造修理の持ち越し処理が誤った情報で行われていたことが判明した。	
12/17	日本航空	エアバス式A350-941	JA03XJ	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/17	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NL	神戸空港	東京国際空港	社内調査の結果、速度超過後に必要な点検が実施されていないことが判明した。	
12/17	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA898A	成田国際空港	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/17	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA151A	美保飛行場	東京国際空港	運航整備中、客席のシートカバーとクッションの一部に製造者が認めていない部品が取付けられていた。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
12/18	日本航空	ボーイング式737-800	JA337J	秋田空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
12/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA01RK	福岡空港	那覇空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/19	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA141A			定時整備中、胴体前方の構造部に損傷が発見された。	
12/19	日本航空	エアバス式A350-900	JA03XJ	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA13FJ			着陸時、客室内外の気圧差の運用限界速度を超過した。	
12/20	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA737Q			定時整備中、胴体下部の構造部に腐食が発見された。	
12/20	日本航空	エアバス式A350-900	JA08XJ	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/21	AIRDO	ボーイング式737-700	JA15AN	東京国際空港	釧路空港	降下中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	イレギュラー運航
12/22	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA51AN	大阪国際空港	函館空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた事態	
12/22	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/22	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA605F	成田国際空港	香港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
12/22	AIRDO	ボーイング式767-300	JA607A	東京国際空港	函館空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
12/22	日本航空	ボーイング式737-800	JA318J	新千歳空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/23	日本航空	ボーイング式737-800	JA343J	新千歳空港	中部国際空港	到着後、作業員の携帯電話が貨物室で発見された。	
12/23	日本航空	ボーイング式767-300	JA652J	長崎空港	東京国際空港	化粧室の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
12/23	日本航空	ボーイング式737-800	JA332J			整備委託先において、飛行記録装置が適切な状態で取付けられていないことが判明した。	
12/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型				不適切な技術指令により整備処置を実施した事態	
12/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA54AN	函館空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/25	鹿児島国際航空	アグスタAW109SP-2	JA09KG	その他※詳細欄	その他※詳細欄	飛行中、第2エンジンの滑油の温度が上昇したことを示す計器表示があった目的地を変更した。	イレギュラー運航
12/25	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA63AN	那覇空港	宮古空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/25	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA786A	成田国際空港	シカゴ	管制指示の確認が不足したことから、管制指示を受けずに離陸した。	
12/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-	JA10RJ	新千歳空港	仙台空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA04JJ	那覇空港	中部国際空港	運航整備中、電波高度計の不具合が発見された。	
12/27	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA616A			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/27	オリエントエアブリッジ	ボンバルディア式DHC	JA802B	長崎空港	福江空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/27	日本航空	ボーイング式767-300	JA618J	台北(桃園)	成田国際空港	到着後、作業員の電子機器が貨物室で発見された。	
12/28	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA25MC	東京国際空港	関西国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/28	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA04JJ	成田国際空港	那覇空港	飛行中、電波高度計に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/28	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA05VA	大分空港	成田国際空港	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/28	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA75AN			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA12RK	新石垣空港	那覇空港	地上走行中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
12/29	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800	JA04GR	佐賀空港	成田国際空港	確認不足により、休憩時間が不足した状態で乗務したことが判明した。	
12/29	日本航空	ボーイング式767-300	JA601J	東京国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/29	日本航空	ボーイング式777-200	JA702J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
12/30	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA137A	岡山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/31	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA885A	ジャカルタ	成田国際空港	運航整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA841A			運航整備中、右エンジン用パイロンの外皮に腐食が発見された。	
12/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA859A	新潟空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
12/31	エアージャパン	ボーイング式787-9型	JA897A	バンコク	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL	JA13RJ	大阪国際空港	大分空港	航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
1/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA895A	クラランプール	成田国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で見つかった。	
1/2	日本航空	ボーイング式787-9型	JA879J	シアトル	成田国際空港	飛行中、擾乱により運用限界速度および指示高度を逸脱した。	
1/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA843A	新千歳空港	青森空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/3	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA605F	バンコク	成田国際空港	上昇中、機体姿勢の変化により、燃料油量の左右差が運用限界を超過した。	
1/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	新千歳空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
1/4	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA603A	ソウル(仁川)	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
1/5	日本航空	ボーイング式787-9型	JA879J	ハノイ	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/6	全日本空輸					航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
1/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA818P	関西国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/6	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL	JA07RJ	広島空港	仙台空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/7	日本航空	エアバス式A350-900	JA01XJ	那覇空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/7	日本航空	ボーイング式767-300	JA602J	鹿児島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/7	Peach Aviation	エアバス式A320-251	JA206P	成田国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA51AN	新石垣空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA08FJ	山形空港	名古屋飛行場	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/8	日本航空	ボーイング式737-800	JA311J	東京国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/8	日本航空	ボーイング式737-800	JA327J	東京国際空港	広島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/8	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	福岡空港	鹿児島空港	進入中、他機が滑走路に進入したため、復行した。	重大インシデント
1/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA461A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA73AN	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/9	日本航空	エアバス式A350-900	JA14XJ	大阪国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/9	AIRDO	ボーイング式737-700	JA14AN			社内調査の結果、整備点検間隔が超過していることが確認された。	
1/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA01RK	東京国際空港	宮古空港	地上担当者の確認不足により、機内に危険物に該当するスプレー缶が持ち込まれた。	
1/10	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA11HC	札幌飛行場	三沢飛行場	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/10	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA785A	ロンドン	東京国際空港	到着後、補助動力装置の空気入れ口のカバーが欠落していることが発見された。	
1/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ17	JA215J	大阪国際空港	熊本空港	巡行中、客室扉が開いたことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
1/10	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA817P	成田国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/10	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA05FJ	静岡空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/11	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	ブリュッセル	成田国際空港	巡行中、左エンジンがフレームアウト(失火)が発生し飛行中に停止した。	イレギュラー運航
1/11	日本航空	ボーイング式787-8型	JA839J	ホルノル	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/11	日本航空	ボーイング式777-300	JA731J	ニューヨーク	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/12	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA801X			社内調査の結果、整備点検間隔が超過していることが確認された。	
1/12	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA350J	新石垣空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/12	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA88AN	大阪国際空港	熊本空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/12	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA460A	福岡空港	宮崎空港	降下中、一時的に速度超過(運用限界)を超えた事象。	
1/12	朝日航洋	マクドネル・ダグラス式	JA6908			定時整備中、胴体天井の構造部に亀裂が発見された。	
1/13	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA619A	新千歳空港	小松飛行場	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/13	日本航空	ボーイング式737-800	JA337J	山口半島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA844A			定例整備中、右エンジンカウルに腐食が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/14	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC			定例整備中、機体上部のアンテナ付近に腐食が発見された。	
1/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA84AN	東京国際空港	高松空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/14	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA866A	シンガポール	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
1/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214	JA24MC	東京国際空港	北九州空港	飛行中、機体が動揺した際、乗客1名が負傷した。	航空事故
1/16	日本航空	ボーイング式737-800	JA341J	東京国際空港	三沢飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA58AN	大阪国際空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/17	日本航空	ボーイング式777-300	JA741J	ロサンゼルス	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA73AN	鹿児島空港	大阪国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA14KZ	ニューヨーク	アムステルダム	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
1/18	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC			定時整備中、胴体中央の構造部に腐食が発見された。	
1/18	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NL	那覇空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
1/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型		関西国際空港	成田国際空港	保安検査場にて機内持ち込みが禁止されているバッテリーの確認不足により機内に持ち込まれた。	
1/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ175	JA08FJ	名古屋飛行場	高知空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/19	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CLJ-600	JA05RJ			ボルトのゆるみ止め部品を未装着で運航したことが判明した。	
1/19	Peach Aviation	エアバス式A320-251	JA203P	新千歳空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/20	Peach Aviation	エアバス式A320-251	JA202P	中部国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/20	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190	JA247J	東京国際空港	山形空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第1エンジンの圧縮機ブレードの損傷を発見した。	
1/20	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA02JJ	新千歳空港	成田国際空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
1/20	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA14JJ	福岡空港	成田国際空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8	JA460A	新千歳空港	中津川空港	気流の急な乱れにより、高度を逸脱した。	
1/21	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ175	JA13FJ	花巻空港	名古屋飛行場	不正確な大人、小児により算出された重量重心位置データを使用して運航した	
1/21	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA627A	台北(松山)	東京国際空港	到着後、作業員のスマートフォンが貨物室で発見された。	
1/21	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA813X	鹿児島空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/21	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8	JA85RC			定例整備中、右エンジンカウルに腐食が発見された。	
1/22	日本航空	エアバス式A350-941	JA07KJ	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/23	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA793A	東京国際空港	ロサンゼルス	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
1/23	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC			乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
1/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA22JJ	成田国際空港	熊本空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/24	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA793A	成田国際空港	サンフランシスコ	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/25	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	サンフランシスコ	東京国際空港	到着後、作業員の携帯電話が貨物室で発見された。	
1/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CLJ-600	JA07RJ			運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/26	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA818P	関西国際空港	新潟空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
1/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ175	JA11FJ	福岡空港	松本空港	巡行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA12VA	関西国際空港	釧路空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/27	Peach Aviation	エアバス式A320-251	JA206P	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA819P	福岡空港	那覇空港	不正確に算出された重量重心位置データを使用して運航した	
1/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA16JJ	成田国際空港	那覇空港	運航整備中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/28	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8970	広州(中国)	成田国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
1/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA350J	東京国際空港	宮古空港	飛行中、右側燃料タンクの表示が非表示になった。	
1/28	静岡エアコミューター	アグスタ式AW109SP	JA17AC			飛行前点検中、ローター回転数の限界値を超過した。	
1/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F	JA11KZ	アムステルダム	成田国際空港	運航乗務員が、規定された休養時間を満たさず業務した。	
1/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA878A	東京国際空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/29	日本航空	ボーイング式787-8型	JA837J	シドニー	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、乗員へ通知せず危険物を輸送したことが判明した。	
1/30	日本航空	ボーイング式767-300	JA623J	東京国際空港	函館空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
1/30	ジェイエア	エンブラエル式ERJ175	JA223J	熊本空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA02RK	那覇空港	宮古空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/30	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	静岡空港	静岡空港	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	
1/31	日本航空	ボーイング式767-300	JA614J	帯広空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/31	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA22JU	新千歳空港	成田国際空港	巡行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/1	北海道エアシステム	ATR式42-500型	JA13HC	札幌飛行場	利尻空港	運航乗務員が、規定された休養時間を満たさず乗務した。	
2/1	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA737R	福岡空港	東京国際空港	進入中、必要な操作を失念したことから、対地接近警報装置が作動した。	
2/1	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA04RK	関西国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
2/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA851A			定時整備中、胴体後方の構造部に凹みが発見された。	
2/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA841A	大阪国際空港	青森空港	上昇中、航空機内の気圧の低下が発生したことを示す計器表示があった。	
2/2	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA937A	東京国際空港	那覇空港	管制に指示された高度を逸脱した。	
2/3	AIRDO	ボーイング式767-300	JA612A			定時整備中、非常脱出ドア付近にクラックが発見された。	
2/4	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800	JA02GR	成田国際空港	佐賀空港	着陸直前、風の急変を受けて対地接近警報装置が作動した。	
2/4	日本航空	ボーイング式777-300	JA741J	ロサンゼルス	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
2/4	フジビジネスジェット	セナ式525A型	JA359C	松本空港	庄内空港	飛行中、第1エンジンの滑油圧力が低下したことを示す計器表示があったことから、緊急事態を宣言の上、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2/5	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA83RC			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/6	日本航空	ボーイング式767-300	JA606J	ホノルル	東京国際空港	管制の許可を得ずに、降下を行った。	
2/7	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	ロサンゼルス	成田国際空港	飛行中、副操縦士側(右側)の操縦室窓にひび割れが発生した。	イレギュラー運航
2/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA814P			特別点検時に、シール材の下処理が正しく行われていないことが確認された。	
2/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA818P			特別点検時に、シール材の下処理が正しく行われていないことが確認された。	
2/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA817P			特別点検時に、シール材の下処理が正しく行われていないことが確認された。	
2/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA816P			特別点検時に、シール材の下処理が正しく行われていないことが確認された。	
2/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA815P			特別点検時に、シール材の下処理が正しく行われていないことが確認された。	
2/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA813P			特別点検時に、シール材の下処理が正しく行われていないことが確認された。	
2/8	日本航空	ボーイング式787-9型	JA864J	ボストン	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
2/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232	JA21JU			運航整備中、航空機内の気圧計の不具合を発見した。	
2/9	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NK	中部国際空港	新千歳空港	出発前に誤って飛行データーを入力した状態で飛行をしていたことが巡行中に判明したため修正した。	
2/11	Peach Aviation	エアバス式A321-251	JA902P	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
2/11	日本貨物航空	ボーイング式747-600	JA14KZ	上海(浦東)	成田国際空港	到着後、左翼下面の整流装置の一部が欠落していることが発見された。	
2/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA874J	東京国際空港	香港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
2/11	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA812X	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	シアトル	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL	JA13RJ	仙台空港	福岡空港	点検整備中、ステアリング系統に引っ掛かりを確認した。	
2/12	日本航空	ボーイング式737-800	JA305J	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA838J	東京国際空港	広州(中国)	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
2/13	日本航空	ボーイング式777-200	JA709J	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
2/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA821J	台北(桃園)	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/14	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA791A	成田国際空港	シカゴ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/14	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA82RC			特別整備中、第2エンジンナセルに腐食が発見された。	
2/15	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	但馬飛行場	大阪国際空港	巡行中、気流の乱れによる機体が揺れにより、着席中の乗客が腰を圧迫骨折したことが後日判明した。	航空事故
2/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA843A	大阪国際空港	青森空港	上昇中、機内高度が基準値を超えることが発生した。	
2/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA350J	宮古空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/17	日本航空	ボーイング式737-800型		帯広空港	東京国際空港	貨物室内に、申請のない携帯(リチウムイオンバッテリー内蔵)を搭載して飛行したことが判明した。	
2/17	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA12FJ	名古屋飛行場	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
2/18	日本航空	ボーイング式777-300	JA732J	ニューヨーク	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/18	エア・ジャパン	ボーイング式787-9型	JA896A	成田国際空港	シンガポール	進入中、第1エンジンに不具合が発生したことを示す計器表示があったことから、緊急事態を宣言の上、着陸した。	イレギュラー運航
2/18	日本航空	ボーイング式787-9型		シカゴ	東京国際空港	貨物室内に指定された箇所に、荷物を搭載しないで飛行したことが判明した。	
2/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA03RK	宮古空港	那覇空港	運航整備中、客室後方右側ドアの不具合を発見した。	
2/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA828P	那覇空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
2/20	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA753A			定時整備中、客室内の非常用照明灯の機能点検を行ったところ、点灯しないことを発見した。	
2/20	ジェイエア	エンブラエル式ERJ19	JA253J	東京国際空港	青森空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
2/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA802A	大阪国際空港	東京国際空港	社内調査の結果、客室座席のクッションの一部に製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	
2/21	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA605F			定時整備中、床の桁部分にCrackが発見された。	
2/21	日本航空	ボーイング式767-300	JA857J	東京国際空港	釧路空港	離陸滑走中、副操縦士席側(右側)の操縦室窓が開いたため離陸を中止した。	
2/21	日本航空	ボーイング式737-800	JA316J	東京国際空港	大分空港	到着後、前方乗降用扉のハンドルに不具合が発生し、扉を完全に開けることが出来なかった。	
2/22	全日本空輸	エアバス式A320-271	JA219A	東京国際空港	佐賀空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/22	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA737N	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA460A			整備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
2/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA03RK	那覇空港	宮古空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/23	日本航空	エアバス式A350-900	JA08XJ	東京国際空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
2/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA854A	大阪国際空港	熊本空港	上昇中、与任系統に不具合が発生した。	イレギュラー運航
2/24	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	成田国際空港	メキシコ	着陸直前、風の変化を受けて対地接近警報装置が作動した。	
2/25	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8664	シンガポール	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
2/26	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA605F	アモイ(中国)	成田国際空港	飛行中、与任系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、緊急事態を宣言の上、目的地を変更した。	イレギュラー運航
2/27	日本航空	ボーイング式737-800	JA321J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
2/27	オリエントエアーブリッジ	ボンバルディア式DHC	JA801B	長崎空港	香取空港	着陸時、エンジンの出力を超過したことが判明した。	イレギュラー運航
2/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A			社内調査にて、部品の使用期限を超過していることが判明した。	
3/1	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA11FJ	静岡空港	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/1	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/2	ソラシディア	ボーイング式737-800	JA809X	鹿児島空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
3/3	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA609A	東京国際空港	新石垣空港	降下中、管制の指示には異なる降下率にて運航したことが判明した。	
3/3	AIRDO	ボーイング式767-300	JA613A	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/4	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA753A			定例整備にて、客室乗務員の座席の一部に製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	
3/4	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA81RC			定例整備にて、エンジンの一部の部品が正しく装着されていないことが判明した。	
3/4	朝日航洋	ベルク412型	JA9584			定例整備にて、機体の主要構造部分にクラックが入っていることが判明した。	
3/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA73AN	東京国際空港	函館空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/5	AIRDO	ボーイング式737-700	JA15AN			復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	東京国際空港	新千歳空港	管制指示経路を逸脱した。	
3/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA876A	シアトル	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
3/6	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NT	鹿児島空港	神戸空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA822A	東京国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA13FJ	神戸空港	松本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/7	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA10RK	東京国際空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/9	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NY	那覇空港	中部国際空港	管制の許可を得ることなく着陸を行った。	
3/13	日本航空	ボーイング式737-800	JA314J	函館空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/13	スプリング・ジャン	ボーイング式737-800	JA06GR	ハルビン(中国)	成田国際空港	航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
3/14	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NM	鹿児島空港	神戸空港	離陸前、エンジンの異常を示す計器表示が点灯したため、離陸を中断した。	
3/14	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA753A			定例整備中、主翼の下部に腐食があることを発見した。	
3/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA05FJ			定例整備時、化粧室の消火器の圧力が0になっていることを発見した。	
3/14	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NC			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/14	日本航空	ボーイング式767-300	JA822J	新千歳空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
3/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA844A	大阪国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
3/15	全日本空輸	エアバス式A321-272	JA143A	岡山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/15	日本航空	ボーイング式787-8型	JA830J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/15	日本航空	ボーイング式787-9型	JA868J	ダラス	成田国際空港	航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
3/15	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA771F	シカゴ	成田国際空港	到着後、作業員の携帯電話が貨物室で発見された。	
3/15	ソラシディア	ボーイング式737-800	JA803X	東京国際空港	宮崎空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/15	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NQ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/16	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	ハノイ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/16	朝日航洋	川崎BK117C-2型	JA01BK	その他※詳細欄	その他※詳細欄	着陸時、エンジンの油圧系統の不具合を示すライトが点灯した。	
3/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA853A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA876J	大連	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/17	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	福岡空港	東京国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
3/17	全日本空輸	ボーイング式737-800	JA53AN	東京国際空港	岩国飛行場	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA350J	那覇空港	福岡空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/18	ANAウイングス	ボーイング式737-800	JA83AN	福岡空港	那覇空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/18	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC	JA460A	鹿児島空港	中部国際空港	飛行中、与任系統に不具合が発生した。	
3/18	日本航空	エアバス式A350-941	JA03XJ	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/18	日本航空	ボーイング式767-300	JA607J	ホノルル	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/18	日本航空	ボーイング式737-800	JA331J	新千歳空港	関西国際空港	上昇中、エンジンの振動が高いことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
3/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA07FJ	新千歳空港	静岡空港	往路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/19	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
3/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ17	JA11FJ	名古屋飛行場	松本空港	着陸後、機内と機外の圧力差の規定値を超えていることが判明した。	
3/20	Peach Aviation	エアバス式A320-251	JA202P	関西国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/21	日本航空	ボーイング式737-800	JA303J			定例整備中、水平安定板の一部に腐食があることが判明した。	
3/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA05RK	新石垣空港	那覇空港	運航整備中、前縁フラップの不具合が発見された。	
3/22	日本航空	エアバス式A350-941	JA03XJ	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
3/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-	JA07RJ	大阪国際空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/22	全日本空輸	ボーイング式777-300	JA787A	成田国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/23	全日本空輸	エアバス式A320-271	JA213A	小松飛行場	新千歳空港	離陸滑走中、左エンジンに鳥が衝突したため離陸を中断した。	
3/23	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC	JA81RC	那覇空港	南大東空港	上昇中、与任系統の不具合が発生したことを示すライトが点灯したことから引き返した。	イレギュラー運航
3/23	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC	JA802B			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/23	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC	JA801B			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/23	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA803X	神戸空港	那覇空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/24	西日本空輸	川崎式BK117C-2型	JA017W	奈多ヘリポート	その他※詳細	飛行後、操縦系の部品が正しく取り付けられていないことが判明した。	
3/24	日本航空	ボーイング式767-300	JA620J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/24	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/24	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA10RK	新石垣空港	那覇空港	運航整備中、前縁フラップの不具合を発見した。	
3/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-	JA05RJ			定例整備中、正規の部品が正しく取り付けられていないことが判明した。	
3/25	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	東京国際空港	那覇空港	上昇中、機長側(左側)の操縦室窓にひび割れが発生したことから引き返した。	イレギュラー運航
3/25	全日本空輸	エアバス式A320-271	JA213A	小松飛行場	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/26	日本航空	ボーイング式767-300	JA603J	東京国際空港	大分空港	飛行中、機内サービス中の乗務員が機体の揺れにより転倒、後日、仙骨骨折が判明した。	航空事故
3/26	日本航空	ボーイング式777-300	JA740J	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/26	日本航空	ボーイング式787-9型	JA867J	ダラス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/26	日本航空	ボーイング式777-300	JA740J	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800	JA12RK	関西国際空港	新石垣空港	離陸上昇中、脚上げ操作を怠り、限界事項を超過した。	
3/27	スカイマーク	ボーイング式737-800	JA73NU	百里飛行場	福岡空港	離陸直後、鳥と衝突したため出発空港へ引き返した。	イレギュラー運航
3/27	全日本空輸	ボーイング式767-300	JA604F	成田国際空港	マニラ	飛行中、第2エンジンの滑油フィルターをつまりを示す計器表示があったことから、緊急事態を宣言の上、目的地を変更した。	イレギュラー運航
3/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA825A	東京国際空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
3/29	エス・ジー・シー佐賀航空	ロビンソン式R44 II型	JA557N			定例整備中、点検項目の期限を超過していることが判明した。	
3/30	ソラシドエア	ボーイング式737-800	JA813X	那覇空港	鹿児島空港	飛行中、管制の指示を誤認識し高度を逸脱した。	イレギュラー運航
3/30	日本航空	ボーイング式737-800型				社内調査の結果、60歳以上の運航乗務員に適用となる身体検査を未実施にて乗務させたことが判明した。	
3/30	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	メルボルン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
3/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214	JA818P	新石垣空港	関西国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
3/31	全日本空輸	ボーイング式737-800	JA78AN			定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	